

# 総括質問

会派幹事長による市長の施政方針や  
予算編成方針に対して行う質問

# 一般質問

市の一般事務に対して、執行の状況や課題、将来の方針や政策的提言を質問

川西市議会 保守系会派

# 川西まほろば会

Vol.08  
2022  
夏号

西山 博大 (令和4年2月24日)

## 1. 市政運営の基本姿勢について

コロナ対応と同時に取り組んだ事業の成果、また、実現できなかった施策について など

## 2. ポストコロナ社会における新しい市政運営について

2050年カーボンニュートラル実現、SDGsに関する市の取り組みについて など

## 3. 「動き出す川西市」について

新たな価値を生み出すことにつながる民間開発(舎羅林山や石道周辺の開発)について など

## 4. 新年度の主要施策について

(仮称)川西市公共交通計画や子ども・若者未来計画の策定、市民ファーマー制度の内容と期待する効果、地域人材マッチング制度の創設について、市内経済やコロナ禍の教育環境の充実と子どもたちへの支援 など

他に、「現時点の社会及び経済情勢」について

川西まほろば会の  
総括質問の様子は  
こちらのページで  
ご紹介しております  
(動画でご覧いただけます)



松隈 紀文 (令和4年3月)

## 安全安心に住み続けることができる まちづくり(川西市空家等対策計画)について

人口減少、少子高齢化に伴い、空き家が散見されるようになりました。市は空き家に関する問題に対して「川西市空家等対策計画」を策定していますが、中でも適正に管理が行われていない空き家に対する取り組みのみが遅れていると感じ質問しました。

**確認できたこと** 平成30年度に計画が策定されて以降、特定空家等に認定した空き家はこれまでない。

**要望したこと** 市民が安心して安全に住み続けることができることを中心に据えて、安全性の低下、公衆衛生の悪化、景観の阻害など多岐にわたる社会問題に対し、積極的に取り組むことや特定空家等への議論を更に深めることを求めました。



磯部 裕子 (令和3年12月)

## 「市民が安心・信頼できる病院」 川西市立総合医療センター開院に向けて

**確認できたこと** キセラ西駐車場(第1駐車場に名称変更されます)を優先駐車場として利用し、スロープがある出入り口を病院側に設置。駅からのシャトルバスの運行。がん診療や救急医療、小児・周産期医療の充実。全個室化による入院環境の向上など。

**要望したこと** 病院南側(正面玄関)近くに専用駐車場設置を検討すること、病室の静音性の確保と公園でのイベントが共存できるよう、最善最良の方向性を見出す努力をすることを要望。



## 保健センターのこれからの役割と課題や今後について

**要望したこと** 乳幼児健康診査、一般健康診査、事業所健診、人間ドックなどを担う保健センターにおいて、古くなった施設を修繕しより良い環境を提供できるように要望。

**改善されたこと** トイレの洋式化、手洗い水栓の自動化、1階乳幼児集団検診スペースの壁紙の張り替えやブラインドの取り替え、子宮がん検診スペースのパーテーション設置など施設の修繕がなされる予定です。

## 川西まほろば会 所属議員紹介

まほろばとは、「素晴らしい場所」「住みやすい場所」という意味の古語です。  
私たちが住む川西市を、より素晴らしいまちにしたい、住みやすいまちにしたいという思いを込めて交渉団体会派名を「川西まほろば会」といたしました。

あきた しゅういち  
**秋田 修一** 3期目

- ・総務生活常任委員
- ・飛行場対策周辺整備調査特別委員
- ・広報委員長
- ・人権施策審議会委員

まつくま のりふみ  
**松隈 紀文** 1期目

- ・議会運営委員
- ・厚生文教常任委員
- ・中心市街地・新名神周辺整備調査特別副委員長
- ・都市計画審議会委員

いそべ ゆうこ  
**磯部 裕子** 1期目

- ・総務生活常任委員長
- ・市立病院整備調査特別委員
- ・猪名川上流広域ごみ処理施設組合議会議員
- ・健康づくり推進協議会委員

にしやま ひろとも  
**西山 博大** 5期目

- ・議会運営委員
- ・建設常任委員
- ・市立病院整備調査特別委員長
- ・善意銀行運営会委員

くぼ よしたか  
**久保 義孝** 8期目

- ・建設常任委員
- ・中心市街地・新名神周辺整備調査特別委員

お問い合わせ

川西まほろば会 議員控室

〒666-8501 兵庫県川西市中央町12-1 川西市役所6階 TEL:072-740-1305  
e-mail: k.mahoroba@ipalette.jp URL: https://kawanishimahoroba.jimdofree.com



## 令和4年度 川西まほろば会の予算要望に対する市の動き

### 要望したこと

#### 全ての世代へ～より便利で人に優しいデジタル社会を～

・行政DX(デジタル・トランスフォーメーション)の推進

#### オンライン化される手続きの例

- 児童手当等の受給資格や額の認定などに関する手続き
  - 要介護・要支援認定申請などに関する手続き
  - 介護保険負担限度額認定申請
  - 保育施設等の利用申込などに関する手続き
  - 介護保険被保険者証の再交付申請
- ※行政DX(デジタル・トランスフォーメーション)とはデジタル技術を活用した行政サービスの改革です。

### 要望に対する市の動き

- デジタル庁に職員が1名派遣されています。
- 子育てや介護関係のオンライン手続きが推進されます。

#### 高齢者のために～幾つになっても健康と安心を～

・高齢者の予防医療やフレイル予防施策の拡充



- 保健師を配置し高齢者の保健事業(健診や保健指導、糖尿病等の重症化防止など)や介護予防サービスを、後期高齢者医療保険制度対象者になった後でも切れ目なく提供できる体制づくりがスタートされます。
- 「フレイル改善短期集中プログラム」がスタートされます。

#### 医療と介護が必要な方とご家族のために～安心できる在宅療養をわかりやすく～

・包括的かつ継続的な在宅医療や介護支援策の推進

- 在宅療養(医療と介護)から看取りまでに関するハンドブックの作成が決定し、令和4年度内に医療機関や薬局などに設置される予定です。

#### 教育現場で働く皆さんのために～川西市で働きたいと思える環境づくり～

・教職員・保育士など教育にかかわる人材の確保

- 令和3年度の保育士等宿舍借り上げ支援に続き、令和4年度はフルタイム保育士の報酬月額引き上げが実施されます。

#### 子どもたちとご家族のために～成長を共に支える切れ目ない支援体制づくり～

・子どもの発達・成長過程における課題の確認と切れ目ない支援の充実

- 特別な支援を必要とする幼児児童生徒の家庭相談と教育相談を融合させ、切れ目ない支援ができる体制づくりが進みます。

#### 子どもたちとご家族のために～安心できる居場所をつくる～

・いじめ・不登校・引きこもり  
などの未然防止とケアサポートの充実



- 不登校児童生徒の保護者には「ほっと・おしゃべり会」(場所:セオリア、毎月第4水曜日、市HP参照)を月1回実施、また、中学校では校内フリースクールに支援員を配置したサポートが全校で実施されています。小学校においては準備が整い次第、校内フリースクールが設置される予定です。

## ～ 市政と県政の連携による、より良い教育環境づくりやまちづくり ～

川西まほろば会では「国・県・市が連携をすることで、力強く取り組めることがある」、その利点を十分に活かすべく、兵庫県の齋藤元彦知事(自民党推薦)と面談、要望書を提出しました。

## 令和4年度 兵庫県への要望

### 教育関連

#### 小中学校における教員不足への対策について

<要望内容>

- 国に対しては、教員の働き方改革をより一層促進させること、また、給与水準を上げること
- 教職員の負担軽減や子どもたちの学びの保障に注力できる時間の確保ため、様々な立場の支援員や教員を加配すること
- 令和元年に示された免許外解消加配制度の地域限定条件を外すと同時に、兼務発令を可能にすることで、技術・家庭科など不足が顕著な専門教員の充足には対応できるようにすること
- すでに臨時講師として働いている者に対して、兵庫県教員採用選考試験の1次選考試験である筆記試験(一般教養・教科専門)実施の必要性について検証すること

### 川西市の魅力づくり

#### ひょうご北摂里山ライド 2022 の開催について

<要望内容>

- ひょうご北摂里山ライド 2022 を開催すること
- サイクリングロードを整備すること
- 兵庫県各地で開催されているサイクリングイベントを一つにとりまとめた「ツール・ド・ひょうご」の開催を検討すること

### 福祉関連

#### ヤングケアラー支援推進について

<要望内容>

- 兵庫県ケアラー・ヤングケアラー支援推進方針を速やかに進めるとともに、川西市ははじめ各市町との連携を強化すること
- ※ヤングケアラーとは、大人が担うようなケア責任を引き受け、家事だけでなく、家族の世話、介護、感情面のサポートなどを行っている18歳未満の子どものことを言います。



兵庫県知事に要望書を提出

(写真右端は、谷公一衆議院議員)

#### 補助金の拡充を要望しました

- 地域と学校の連携・協働体制構築事業の補助金について(教育関連)
- 「スポーツクラブ21ひょうご」補助金について(スポーツ推進)

# 川西まほろば会の 2018年10月から、これまでの成果と継続する取り組みの一例

## 成果

### 川西市が培ってきた伝統文化を守る

30年近い歴史を刻んだ「川西おもしろ能」は令和3年をもって幕を下ろしましたが、川西まほろば会では地域の皆さんが大切に育ててきた川西市の伝統文化としての「おもしろ能」を、今後も残していくべく、令和3年9月議会の一般質問で久保義孝が市の考えを問いました。その結果、市も今まで培ってきた伝統文化の重みを再認識し、「川西おもしろ能」については新たな開催手法を模索することになりました。川西市で育まれた伝統文化の芽を育てられるよう、川西まほろば会も活動してまいります。



## 成果

### 「全室個室」の川西市立総合医療センターがいよいよ9月に開院!

市立川西病院の移転に伴い市議会が設置した「市立病院整備調査特別委員会」の委員長を、当会派の西山博大が複数回務め、川西まほろば会は議会での議論を常に牽引してきました。新病院の目玉でもある「全室個室」のあり方については、先進事例の現地調査に基づき具体的な提言を行うなど、委員会でのさまざまな議論を経て、新病院は9月に「川西市立総合医療センター」として市の中心部に開院します。しかしながら、北部地域では移転後の跡地活用といった課題が残されています。その解決に向けて、川西まほろば会は今後も具体的な提言を行うなど全力で取り組みます。



## 成果

### 公約「議員定数削減」を守る!

川西まほろば会では近隣他市の人口に対する議員定数などの調査を重ね、議員定数を26議席から24議席へと2議席削減する議員提出議案を令和3年12月議会に提出し可決されました。

26議席 → 24議席

## 成果

### 持続可能な公共交通が暮らしを支える

市民の皆さんと共に、それぞれの地域にふさわしい公共交通のあり方を一歩踏み込んで検討すべく川西まほろば会は市に働きかけました。その結果、市内全域を対象に地域公共交通会議が開催されることとなりました。また、市内唯一の補助路線においては、地域住民の皆さんのモビリティ・マネジメントだけでは解決できない課題ではないとの見解に至り、市の支援のあり方も持続可能な方法が必要であるとの考えを確認できました。これからも引き続き、それぞれの地域にふさわしい公共交通を市民の皆さんと共に考えてまいります。



## 成果

### 「食」と「健幸」の中学校給食センターいよいよ9月にオープン!

川西まほろば会では、中学校の完全給食実施に際しては、①全中学校一斉に行えること、②早期に実現できることを目標に、教育委員会にセンター方式による中学校給食を提言してきました。センター方式ではあるものの、自校式の小学校での手作り給食の良さを受け継ぐとともに、最新の設備で多彩な献立を提供、さらには、センター方式の利点を活かし、特定原材料等28品目へのアレルギー対応もします。また、中学校給食センターは「作って運ぶ」だけの施設ではなく、中学生はもとより川西市民にとって食育を考える施設として位置づけられるよう提言してきました。その結果、給食センターはエントランスホールに給食ギャラリー、玄関前に食育のイベントなどを行える食育テラス、さらに調理なども行える多目的室の設置など、川西市の「食」と「健幸」をつくる食育ステーションとしての役割も果たせる機能を有しています。市民の皆さん念願の中学校給食が、安全安心に運用されるようこれからもしっかりと見届けてまいります。



## 成果

### こども医療費の無償化が前進!

子どもの医療費助成について、川西まほろば会を代表して平成31年3月議会で松隈紀文が一般質問をしました。その後、会派から市への予算要望の際には、毎年、継続的に要望をしてきたこともあり、所得制限はあるものの、2021年度から中学生までの「こども医療費の無償化」が実現しました。これからも、子育て世帯の負担軽減や子育てしやすいまちづくりの環境整備に取り組んでまいります。



## 成果

### ヘルプマークの普及が進む!

ヘルプマークの啓発と普及については、川西まほろば会を代表して、平成31年3月議会で磯部裕子が一般質問を行いました。質問をきっかけに川西市内を走る阪急バスや学校園所、公共施設にヘルプマークのポスターが掲示され、さらには、ヘルプマークを発行できる場所が1カ所から12カ所に増え、啓発と普及がなされました。ヘルプマークの交付枚数はここ3年で約6倍の1,141枚(令和4年5月時点)のヘルプマークが発行され、思いやりあるまちづくりが進んでいます。ヘルプマークについての一般質問の回数は4度にのぼりますが、これからもヘルプマークを必要とする方に知っていただくことはもちろん、ヘルプマークを見かけたらどんな配慮や援助ができるかを考え行動できる人が増えるよう努めます。新たに動画による啓発が検討されています。

ヘルプマークは、外見からは分からなくても援助や配慮を必要としている方々が、周囲の方に配慮を必要としていることを知らせることで、援助が得やすくなるようにと作成されたマークです。



## 速報!

### 出産育児一時金増額の意見書を提出 ～ 国庫負担により出産費用を賄える水準に～

現在、出産をするのに都市部では平均10万円の自己負担が発生しています。川西まほろば会では話し合いを重ね、出産費用については、国が責任をもって負担するよう、この6月議会に意見書を発議し、全会一致で可決、国へ提出しました。

## 継続

### 2030年のSDGsの目標達成に向けて

SDGs(エスディーゼーズ)の理念は市政に反映されているか、また、見える化できているか、川西まほろば会を代表して令和元年12月議会で磯部裕子が一般質問を行いました。その後、阪急電車と連携した取り組み、さらには、川西市産業ビジョンや人権行政推進プランにSDGsの考えを盛り込むなど、見える化も進んでいます。最近では川西市とゆめほたるとがコラボしたポスター展示もされました。市民の皆さんに広く知られ、日常生活の中でSDGsに取り組めるようさらなる働きかけをしてまいります。



SDGs(エスディーゼーズ)とは、2015年9月に国連で開かれたサミットの中で世界のリーダーによって決められた、国際社会共通の目標です。2030年までの15年間で、17の目標を達成することで、「全世界全ての人たちが“持続的”に“人らしく生きる”ことを目指しています。



## 継続

### 川西まほろば会の考える 議会の情報発信について

川西市議会では議会改革の検討項目として、デジタル化の推進・ペーパーレス化を推奨してきました。技術の向上、機器の刷新などが加えられ、広報紙もタブロイドから冊子へ、議会の映像も録画配信されるようになり、開かれた議会づくりが進んできました。今期においては、川西まほろば会の秋田修一が委員長を務める広報委員会で議会の情報発信の在り方について協議が重ねられています。言論の府である議会の充実を図り、機器の更新時期なども見据えながら、さらなるデジタル化を進めていきたいと考えています。

